

平成15年度経営構造対策事業計画評価表(第1年度目)

都道府県名	石川県			施設整備	事業内容	実施(予定)年度	受益戸数	受益面積
市町村名	鶴来町、河内村				高生産性農業用機械施設 大豆コンバイン 3台	H15~H16	25	35.0ha
地区名	鶴来郷地区				高生産性農業用機械施設 乗用管理機 2台	H16	25	37.5ha
認定年度	H15	目標年度	H19		高生産性農業用機械施設 格納庫 1棟 97.08㎡	H16	25	75.0ha
					高生産性農業用機械施設 大豆施肥同時播種機 3台	H16	25	70.0ha
					地域農業管理施設 1棟 121.94㎡	H17	439	790.0ha
					情報管理通信施設 営農情報システム一式	H17	439	790.0ha
					農業気象高度利用施設 一式	H17	439	790.0ha
				経営構造整備附帯事業 一式	H17	439	790.0ha	

1 全国共通目標

事項	計画時	目標	目標達成プログラム (上段:計画 中段:実績 下段:達成率)					達成状況 (評価)	
			1年度目	2年度目	3年度目	4年度目	5年度目		
認定農業者の育成 (人)	18	20	18 21 皆増	20	20	20	20	20	
担い手への農地の 利用集積 (ha) (上段()は 集積率で%)	(51.9%) 410.0	(64.6%) 510.0	(54.4%) 430.0 (55.5%) 438.7 143.5%	(58.2%) 460.0 () ()	(60.1%) 475.0 () ()	(62.0%) 490.0 () ()	(64.6%) 510.0 () ()		
遊休農地の解消 (ha)	0.00	0.00	0.00 0.00 100.0%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
地域提案目標 (項目:)									

2 地区選択目標

(1) 一般選択目標

事項	計画時	目標	目標達成プログラム (上段:計画 中段:実績 下段:達成率)					達成状況 (評価)	
			1年度目	2年度目	3年度目	4年度目	5年度目		
年間労働時間の短縮 (大豆) (単位:hr/10a)	17	13	16 15.3 170.0%	13	13	13	13	13	

(2) 水田農業構造改革目標

ア. 作付面積

作物名	計画時	目標	達成状況 (上段:計画 中段:実績 下段:達成率)					達成状況 (評価)	
			1年度目	2年度目	3年度目	4年度目	5年度目		
大豆	60.7ha	75.0ha	68.0ha 71.4ha 146.5%	75.0ha	75.0ha	75.0ha	75.0ha	75.0ha	

イ．販売計画

作物名	計画時	目標	達成状況					達成状況 (評価)
			(上段：計画 中段：実績 下段：達成率)					
			1年度目	2年度目	3年度目	4年度目	5年度目	
大豆	128.0t	175.0ha	135.0t	148.0t	160.0t	170.0t	175.0t	×
			102.7t					
			-361.4%					

3 所見及び改善措置等

- (1) 全国共通目標
 認定農業者の育成
 ・3ha以上の経営耕地のある農業者を中心に育成
 ・経営改善計画の作成指導と助言
 ・集落営農組織の中心的農業者の育成
 ・集落営農組織の育成：町・JAによる助成
 集落型経営体（農業生産法人）
 ・認定計画
 平成15年度 3名（個人2名、法人1名）
 今後 5名
 担い手への農地の利用集積
 ・集落営農組織による計画的農地利用
 ブロックローテーションの推進
 ・農地保有合理化学業の活用
 支援機器の整備計画
 遊休農地の解消
 ・今後も遊休農地が発生しないように取り組んでいく。
- (2) 地区選択目標
 年間労働時間の短縮（大豆）
 ・規模拡大による効率的作業体系の確立
 機械・施設の整備
 ・作付地の団地化の推進。
 ブロックローテーションによる団地化
 ・担い手への作業集積
 ・大豆施肥同時播種機による播種作業の効率化を図る。
 作付面積（大豆）
 ・麦後の大豆作付けの推進。
 ・作付地の団地化の推進。
 ・担い手への作業集積。
 ・大豆施肥同時播種機による播種作業の効率化を図る。
 販売計画（大豆）
 ・未達成の理由
 ア 6月12日の梅雨入り後の断続的な降雨により、十分な培土作業ができなかったため、湿害による生育量不足と、雑草が繁茂した。また、これにより7月下旬から葉の黄化がみられた。
 イ 播種期の天候に恵まれたため出芽は良好であったが、6月中旬から8月上旬の低温・日照不足の影響により着莢数がやや少なくなり、9月以降の天候の回復により粒肥大が進み百粒重は大きくなったものの、収量は前年を下回った。
 ウ 品質面では、急激な乾燥で根の機能が低下し、しわ粒が多く発生した。また、一部では地力の低下による収量の低下が懸念された。
 これらの理由により、10a当たり収量が144kgとなり計画を達成することができなかった。
 ・改善措置について
 ア 施肥同時播種機（同時畝立）の導入により、初期成育の促進と湿害に強い栽培管理を行う。
 イ 1回目の防除に殺虫剤の散布により、ウコンメイガを防除し葉の食害を防ぐ。
 ウ 適期刈取りにより、品質の向上を図る。
 ・地元加工業者への販売促進。
 ・直売所による販売。
 生産向上対策
 ・畝立同時播種機による播種により、苗立ちを揃える。
 ・中耕培土の早期実施と2回培土の徹底
 ・暖効性肥料実証圃の設置
- (3) 施設の利用状況
 ・利用面積は、計画を上回っている。今後も利用率の向上を図る。
- (4) 担い手の受益割合
 ・担い手であるオペレーターが刈取作業を受託している。

添付資料 1

都道府県経営・生産対策推進会議の所見

<p>(1) 全国共通目標 3目標共にプログラムを達成しているが、今後も関係機関の連携を強化し認定農業の育成及び担い手の利用集積を図る必要がある。</p> <p>(2) 地区選択目標 大豆の年間労働時間の短縮については目標を達成しているが、今後も引き続き、作付けの団地化、高生産性機械による作業の効率化等により労働時間の短縮を図り、規模拡大につなげてほしい。</p> <p>大豆の作付け面積は目標を達成したが、悪天候条件により単収が増加せず、結果として販売実績の達成には至らなかった。</p>
--

添付資料 2

施設等の利用状況及び担い手の受益割合報告書

施設名	事業実施主体（管理主体）
大豆コンバイン	鶴来郷農業協同組合

1 利用計画に対する利用状況

		利用面積 (単位:ha)	利用率 (単位:%)	達成状況
利用計画		35.0 ^(a)		
実績	平成15年度	37.2 ^(b)	106.3 ^{(b)/(a)}	
	平成 年度	^(c)	^{(c)/(a)}	
	平成 年度	^(d)	^{(d)/(a)}	

2 担い手の受益割合

		施設の利用面積 (単位:ha) A	左のうち担い手の利用 (単位:ha) B	担い手の受益割合 (%) B/A	達成状況
利用計画		35.0			
実績	平成15年度	37.2	37.2	100	
	平成 年度				
	平成 年度				